

Abstract

権威主義体制下のイノベーション・エコシステム
——新興技術の研究開発・社会実装をめぐる中国の戦略と課題

土屋 貴裕（京都先端科学大学准教授）

情報を基盤とする新興技術によるイノベーションが進む中、中華人民共和国をはじめとする権威主義国家の台頭と新興技術の研究開発、社会実装によって、民主主義体制よりも権威主義体制の方がイノベーションに有利なのではないかとの議論が近年盛んに行われている。それでは、権威主義体制下のイノベーションとそのエコシステムにはどのような特徴が見られるのだろうか。

本稿では、権威主義体制におけるイノベーション・エコシステムの構築を進めている先行事例である中国を取り上げ、イノベーションをめぐる諸政策とその背景、および軍民融合型イノベーション・エコシステムを分析し、新興技術の研究開発、社会実装の特徴と課題を明らかにした。また、そこから敷衍して、権威主義体制におけるイノベーションが民主国家とどのように異なるのかを考察した。